



公益社団法人 日本薬剤師会理事 青木 裕明

薬局で薬をもらうと、薬剤師から病状や持病、他に飲んでいる薬、副作用やアレルギーの経験、場合によっては仕事の内容や食事の回数まで聞かれたりすることがあると思います。薬剤師は、薬を有効かつ安全に使用してもらうため、処方箋に記載されている内容を薬学的に正しいか確認した上で調剤をします。

その際、医薬品の情報と患者さんからお聞きした情報を合わせ、体質に合わない薬や飲み合わせの悪い薬が処方されていないか、使

## 状況をしっかりと把握、相談に対応

### かかりつけ薬剤師



い過ぎや重複がないかなども判断しています。必要に応じて、安心して薬を使用できるような関与をしています。

複数の医療機関を受診した際、近くにある別々の薬局で薬をもらっている、という方も少なくないと思います。その場合でも、薬剤師はお薬手帳を確認し、病気や薬についてのコミュニケーションを通じて必要な情報を集め、薬学的な管理を行っていきます。前回説明したように、より確実に効率よく薬の安全

性と有効性を確保するためには、ぜひ、かかりつけ薬局を決めましょう。

さらに、普段からの信頼関係がある薬剤師を選んでいただくこともお勧めします。一人一人の健康や服薬の状況をしっかりと把握し、何でも相談できる関係を持っている薬剤師が、あなたの「かかりつけ薬剤師」になります。休日や夜間などの急な体調変化にも、電話相談や状況に応じたサポートを受けられるので安心です。

「どうやって探せばよいの?」と思われるなら、まずはご自身が信頼して利用している薬局までご相談ください。